



エコ・レンジャー通信

2026/6月号



クラブ活動

エコ・ハウスでは、R8年度、3つのクラブが活動しています。

エコ・サイエンスクラブ
今年度は、小学3～6年生21名とその保護者で活動をスタートしました。講師はおなじみ、立石康先生。

第1回 5月10日「ケプラー式望遠鏡」
望遠鏡といえばガリレオやニュートンのイメージが強いですが、今回はケプラーの望遠鏡について学びました。天体観測向きのケプラー式望遠鏡、特別に立石先生自慢の天体望遠鏡も見せてもらいました。



第2回 6月14日「朝顔と気孔の観察」

《これからの予定》

第3回 7月19日「伊方発電所見学」
*8月はお休みです。

新科学工作道場

小学5年生から中学2年生までの、親子7組で活動しています。講師は立石先生。はんだの基礎から学んでいます。

第1回 5月11日
「ラントレースカー」
はんだの仕組みや使い方の基礎を学んだあと、実際にはんだを使って、「ラントレースカーづくり」に挑戦しました。



床などにひいたラインを、センサーで感知して進むのがラントレースカーです。今回は、この仕組みで進む車作りに挑戦しました。

《これからの予定》

第2回 7月12日

第3回 9月13日

エコ・チャレンジクラブ
今年度も申し込みが多かったので、AとB、2つにわかれて活動しています。クラブ活動を通して、自分なりの「エコライフ」を見つけるのが目標。

第1回 A 5/23 B 6/20
「みそづくり」

家族で協力して、味噌を仕込みました。暑さ対策のため去年より水分を少なくし、チャック袋から密閉容器にチェンジ。



第2回 A 6/27 B 7/18
「みつろうラップ」

みつろうラップのほか、Aはみつろうキャンドル、Bはモスクートクリームをつくりました。みつろう、奥深いです。



《これからの予定》

第3回 A 7/25 B 8/22

「アイスづくりとトルネード実験」

第4回

A 8/29 「夜に鳴く虫観察会」

B 9/19 「紫外線」

雨水の利用

えひめエコ・ハウスには雨に関する施設が2つ備わっています。

1つは、地下の雨水槽。えひめエコ・ハウスの屋根に降った雨水は、建物の地下にある雨水槽(50㎡、25m×8コースのプールの10分の1くらいの水をためることができます)に貯められます。この水は、屋上緑化やグリーンカーテン、ハーブなどの水やりに使えます。外の水道の横にある雨水タンクにも600ℓの雨水をためることができ、こちらは、オタマジャクシなど水道水では生きられない水生生物を観察するときや飼育するときに使っています。

もう1つは、入口の前の透水性ブロック。水を通すので雨水が地面にしみこみやすく、地下水の循環に役立ったり大雨の時排水設備の負担を軽くしたりできます。エコ・ハウスの前は入り口に向かって坂になってるけど、この透水性ブロックのおかげで、大雨の時も入口から水が入ってくることはありません。

